

チャトゲコナジラミの天敵シルベストリコバチの早期定着を図る放飼地点間隔

シルベストリコバチの茶園放飼において、地域単位の早期定着を図るには、1km間隔の放飼が有効

背景・目的

- ・シルベストリコバチはチャトゲコナジラミの有力な天敵
- ・チャトゲコナジラミの発生地域ではシルベストリコバチの放飼を実施中
- ・放飼間隔等の放飼条件が不明

成果の内容

表 コバチの放飼時期と寄生率の推移

| 調査年 | 調査月日 | コバチ 脱出痕数 a | チャトゲ 羽化痕数 b | コバチ 寄生率 $a/(a+b) \times 100$ |
|-----|-------|------------------|-------------------|------------------------------------|
| H29 | 7/14 | 0 | 209 | 0.0 |
| | 8/28 | 14 | 388 | 3.5 |
| | 10/5 | 12 | 48 | 20.0 |
| H30 | 5/11 | 3 | 87 | 3.3 |
| | 7/27 | 25 | 7 | 78.1 |
| | 10/10 | 8 | 0 | 100.0 |
| | 11/8 | 66 | 83 | 44.3 |

注) 放飼年月日と頭数は、H29年7/4、8/18及び9/25の3回、推定112頭

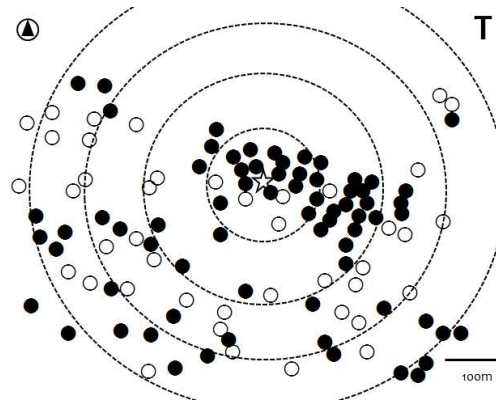


図 コバチ放飼から1年経過後の分散状況
注) 中央の星印が放飼茶園、白塗りの丸は定着茶園、白抜きは未定着茶園を示す。

・放飼1年後のシルベストリコバチは、放飼茶園から放射状に500m程度分散(図)

期待される効果

シルベストリコバチの早期定着によるチャトゲコナジラミの低密度安定化

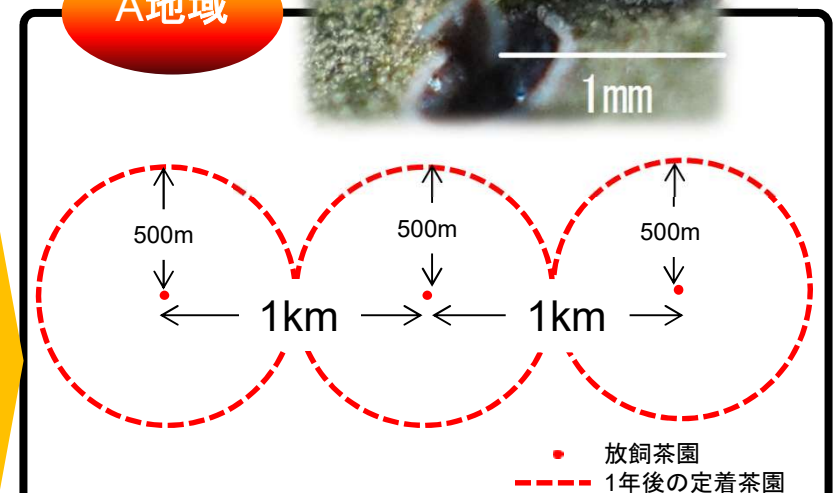
鹿児島県農業開発総合センター茶業部環境研究室

チャトゲコナジラミの幼虫に産卵するシルベストリコバチ



A地域

導入メリット



1km間隔で茶園にシルベストリコバチを放飼すれば、1年後には地域単位の拡がり、早期の定着が図られ、チャトゲコナジラミの密度抑制効果が期待

普及対象・範囲
チャトゲコナジラミ発生地域